

第22回光が丘第八保育園民間委託化対策協議会

平成17年10月29日(土) 光が丘図書館

協議会検討事項記録

- 議題
- 1 第三者評価の結果報告について
 - 2 採用・引継ぎ状況について
 - 3 幼稚園経験の取扱い
 - 4 フォロー体制について
 - 5 その他

1 第三者評価の結果報告について

(区側) 評価機関と都との間で調整が必要との連絡があった。1か月ほどかかる見込みなので本日、配付できないことを報告する。

(保護者側) 準備でき次第配付していただきたい。

2 採用・引継ぎ状況について

(ピジョン) 11月1日付で20名の保育士を配置予定。幼稚園経験が多い保育士は現在2名である。

(区・現場) 最初は保育、3週目くらいから当番に入った。その後10月後半に合同で打合せを行い、11月のクラス指導計画を作成。これから個々の園児の引継ぎと保育の細かなところの引継ぎをしていきたい。

(ピ・現場) クラスに入り、サブリーダー的な動きができるようになってきている。園児個々を把握することが大切で、11月中に入る職員は体験的な点で少し不足かなと感じる。光八職員のフォローも大切ではないかと思う部分もある。

(保護者側) 採用状況を詳しく聞きたい。

(ピジョン) 経験年数12年以上が6名、6年を超えるものは9名。栄養士、看護師は配置済、調理のリーダーとして11月1日に配置。用務は11月16日に配置予定で、実務経験年数はクリアしている。

(保護者側) 他の保護者にも採用状況をお知らせいただきたい。また、障害児担当職員の経験年数はどこに入るのか。

(ピジョン) 6年以下の経験者5名の中に含まれる。

(保護者側) 非常勤の職員はどうなっているか。

(ピジョン) 11月16日に8名を予定している。現在4名採用が確定している。

3 幼稚園経験の取扱い

(区側) 現時点での区の考え方は以下のとおりである。

幼稚園経験が全体の経験年数の半分以上を超える保育士は0～2歳クラスに配置しない。

障害児保育経験者6名(プロポーザル条件では3名)を配置する。

フォロー期間内に乳児保育研修を受講させる。

(保護者側) ピジョンの乳児研修の日数や期間はどうか。

(ピジョン) 会社として保育に関する研修を自治体や企業に提供している。乳児保育研修は1～2日である。

(保護者側) 乳児保育研修の内容および必要性について伺いたい。

(区側) 保育研修の必須項目のひとつである。3～4年の保育経験者が受講対象である。

(保護者側) ピジョンと区の乳児保育研修をともに受講することとしてほしい。対象は幼稚園経験を含む保育士は全てとすること。

(ピジョン) ピジョンとしての研修内容を次回示したい。

(保護者側) フォロー期間を利用して経験不足を補う計画だが、将来的には保育経験のみの保育士

と考えてよいか。

- (区側) 幼稚園経験は排除しないとしているので、保育経験のみということではない。
- (ピジョン) 保育実務経験不足への対応策については次回示したい。

4 フォロー体制について

- (保護者側) 「可変性」とはどういうことか。
- (区側) 12月～3月まで職員配置など固定的に行うわけではなく、変わりうるということ。
- (保護者側) 支援調整係長は主に委託園への調整、指導、支援をしていくとして、管理・監督責任が果たせないのではないか。
- (区側) 事業主体はピジョンであり、フォローの指揮命令系統は区職員を管理するものである。事業者の園長は12月以降、ピジョンの職員に対し、指揮命令系統を管理する。
- (保護者側) 現場に意見を聞いているのか。
- (区側) 区としての考えで、現場の意見を聞いてはいない。
- (保護者側) 朝夕の時間帯は非常勤および臨時職員が必ずいる。フォローになぜ入れないのか。また、代替職員がフォローに当たるのはむずかしいのか。
- (区側) 現実的な話としてはわかるが、非常勤制度の問題がある。代替職員に関しては兼務職員制度という人事サイドの考え方があり、いずれもむずかしい。
- (保護者側) フォロー体制～保護者側代案の説明
- (区側) 資料中の「所属職員」との表現の中身はなにか。
- (保護者側) 区およびピジョン職員全体を指し、指揮命令系統ラインは基本的に一本と考えている。
- (区側) 12月以降全体の職員を統括する点については問題があると考え。12月と1月以降のフォローの中身は段階的としたい。フォローに従事しない職員の考え方についても対応はむずかしい。

5 その他

(1) 5歳児クラスの取り扱いについて

- (保護者側) 5歳児クラスの担任は現職員2名で行う、ピジョン保育士は担任のもと保育に参加する。就学祝会の準備開催は区職員を中心に行う、ピジョン職員は補助的にかかわるなどの要望をまとめ、提示するので検討願いたい。

(2) 障害児保育研修の取り扱い

- (区側) 未受講者について18年2月中旬に同程度の研修を予定。12月以降も実習を継続する。なお、要綱は現在の要綱で対応可能である。
- (保護者側) 実習はいつまで継続し、何日程度なのか。また、実習調整可能な園はあがっているか。
- (区側) フォロー期間の中で完了させたい。仮に完了しない場合は対応を考える。実習は3日で対象は全園、対象保育士の状況にあわせて決める。

(3) 11月中旬採用者の引継ぎについて

- (保護者側) 用務6時間はどういうことか。
- (区側) 区では1名が行っている。ピジョンでは用務、事務職員などで分担して行う。
- (保護者側) どの項目をどう振り分けるか示してほしい。事前にやり取りし、次回協議会で確認したい。

(4) その他、要望

- (保護者側) 以前、選定委員会へ保護者がまとめ、作成した「保育の質」という資料を出している。これをピジョンに渡して是非参考にしてもらいたい。

以上

次回日程 11/12(土) 光が丘図書館 2時から